—第1回目の目標、(教外書P.1~8)— ベクトルとその演算法則を理解する。

- ・ 何故 線形が代数を学ぶのか?
 - 一)自然現象や社会現象(力学系(dynamical system))の未来を言目でるよで、現象の基本的なモデル化 中角な析の基石壁となる。 シ行列
 - 一> 現象の変化の法則を"直線的な動き"とにて 捉え、非線が解析へとつなかり、ていく、

第一章へ"フトル 引甲面のかかれ

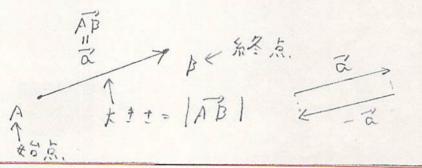
定義(ベクトル、なら点、糸冬点、へ、クトルのたまさ、逆へ、かん)

A.B:平面上のな点

- · A からBに向かうを手Pをベットルといい、AB(zid る)で表す
- ·ABI·おいて、Aを女的なりを糸をなっという
- ·ADを表す失印の長さを不可の大きさといい、ABIと表す

(ABの表が矢印の同せき) あり同きという

・なくたきたが同じで、



定義(かりよれの本目等)-

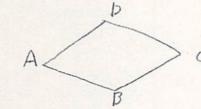
Z, B: 1"7/1

マニで色(同三間でか)(はの向き)=(での向き) 大きさか"同し"

(目りな、平行うチタタ車からで一致するべつトルは同じものと考える)

定義 (単位 ベットル)-大きさが"1のハ"クトルを単位へ"フトルという。

1月11



ABCD: -込の長さが1のひしかり AP = BC . AB : DC . 1AB1=1BC1=1CB1=1DA1=1

PO 1

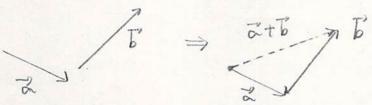
11/AB/= JZ /AE/= JZ. JZ = Z 10°c 1=

- 1辺の長とかでなの正方サカトコリス (AD), (AC) 15c 2tibo 2 23.

一定義(ベクトルのカの法、三成法、実数任意)

る、で:べいれ、お:実数

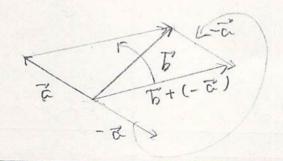
・スナで:=(この然点にいるがな点がをあれせたときに、)



・たで:= (よ>0のとき、向きが"ママ同じで、大きさか" |で1のお信のないですれい しょくののとき 向きが"でと逆向きで、大きさか"にいいが変のかでかれていたがないないかい なきののとき、大きさか"ののへでかれい(これをでえます)

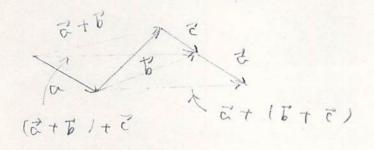
特に、「し、マはでの強べ、ケトルのこと、ほか、「し」、マニーな、

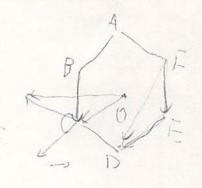
· B- = B+ (- a)



定理(かりよれの演算活則)) (交換 注別)

(2) (マナド)ナマ = マナ (アナマ) (糸ま合きまり)





<u>定理(べかんの)演算法則2)</u> m, n:実数

(3) m(n a) = (mn) a

(4) (m+n) a = matha

(5) m(a+ b) = ma+ h b

(6) |ma| = [m1-12]

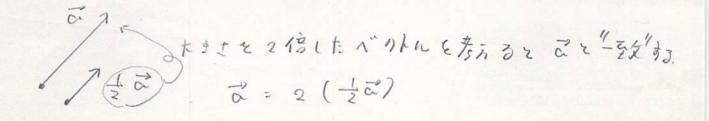
問2(1) 2(マー3で)-3(マーで)を簡単にせよ.

(2) マナ(2でーで)ーマ(マナなーで)を簡単にせよ。

門3 3マー(アナア)=コスーコマナンなも満たすべかルヌを抗めよ、

一定義(ベカルの平行)
る、B、でないないべかん
るとなが平行(なりとます)
とうなるなに限されるな用いて次の様に表せるこ
はこれで

何12 マセーセスは平行ないかん。



月の2の海军答

門3の角军答

与式は次の様に変形了できる。

「上のマラの等しいへかれたは等しい、何い操作がもしても

→方性引 で ま及, たかので見ずま作 かしてできま